

# Origin

— おりじん —  
訪問看護ステーション便り

第9号

令和7年1月発行

香川県訪問看護ステーション  
連絡協議会

発行責任者：尾崎 美智



## ご挨拶

会長 尾崎 美智

新年あけましておめでとうございます。

平素より当協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私は、約10年前に一度会長を務めていました。その時代は、訪問看護の土台を作り上げた先輩達からバトンを受け取り、訪問看護ステーションの認知度を高め、増やし拡げることが課題とした「数」への取り組みが中心の活動でした。この10年で在宅医療を取り巻く状況は大きく変化し、訪問看護という事業が注目され、全国的なデータにおいて今年度の新規参入は過去最高となっています。一方で、休止、廃止の事業所も過去最多となり、訪問看護師の1年未満の離職率は医療機関の看護師より高くなるなど、新たな課題も見えてきました。

香川県においても、訪問看護ステーションは150か所を超え、「数」は満たされてきましたが、そこで働く「人」への支援は十分とは言えない状況です。これから先の2040年を見据え、協議会が目指すべきことは、困り事や悩み事の相談、人材育成など「人」を大切にする支援だと考えます。昨年参加した訪問看護サミット2024のテーマは、『すべての人にウェルビーイングを』でした。ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態のことであり、職員の幸福度を高めることで企業の業績が上がるという研究結果もあることから、今、国や企業で取り込まれている考え方です。協議会としても、全ての人のウェルビーイングを高められるような支援を検討していきたいと思えます。

最後になりましたが、関係各位ならびに会員の皆様には、今後とも当協議会への温かい支援とご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。





## 訪問看護師への期待

### 訪問看護師に期待すること

綾川町国民健康保険陶病院 院長  
香川県医師会副会長（在宅療養担当）

大原 昌樹



私が在宅医療に取り組み37年になります。興味を持ったきっかけは、学生時代に新潟県大和町（現南魚沼市）で訪問看護に同行したことです。玄関からひどい尿臭のする家に入ると鍵のかかった部屋の片隅に高齢男性が座っていました。その家族の相談に丁寧に対応し、患者にやさしく接する訪問看護師の姿が印象深く残りました。この訪問看護創世期から時代は大きく変わりましたが、その真髄は変わっていません。生活をみる、患者・家族に寄り添う、医療と介護のつなぎ役、少ない資源を有効に活かすなどがあります。今後も活躍を期待しています。

さて、2020年から始まった新型コロナウイルス感染症は大きな爪痕を残しました。県医師会の在宅療養担当として振り返ると、在宅患者や高齢者施設への対応はあれでよかったのかと自責の念にとらわれています。在宅医療介護関連事業所はどこも規模が小さく、十分な対応が困難であったことは確かですが、何か方策はなかったのか。そういう中で、県感染症対策課において、「次の感染症に備える在宅医療の取組み」に関して、本連絡協議会代表を含めたワーキンググループで議論。**1. 役割分担とグループ化の推進、2. ICTの活用、3. 在宅医療体制の充実**を骨子として県に提言しました。

今後の具体的な取組みについては、とりわけ訪問看護ステーションの協力が不可欠であります。次に備えた地域全体の取組みを積極的に考え、リードしてくれることを強く期待しています。

### 看護が織りなす物語をつむぎましょう!

公益社団法人香川県看護協会  
会長 富山 清江



日頃は、本会事業につきまして格別のご協力とご支援をいただき心から厚くお礼申し上げます。

香川県は高齢化、核家族化が進み高齢者独居が増加中です。医療的ケアを受けながら住み慣れた地域および自宅で暮らしたいと希望される方がたくさんいらっしゃいます。

新たな地域医療構想における地域共生社会の推進には、訪問看護が要となるとともに役割期待が高まっています。訪問看護に携わっておられる看護職一人ひとりが看護の力を信じて生涯輝きつづけ、たくさんの感動を覚えられるように支援が必要と考えています。

2024年11月20日時点、香川県下には150の訪問看護ステーションが登録されています。

しかし、小規模ステーションが多く、様々な事情により事業運営に支障をきたし休止する事業所もあり、健全な経営、人材確保、看護の質保証の実現が困難を生じている現状です。

そこで、2025年6月より訪問看護総合支援部門を設置し、訪問看護の充実にむけて、微力ではありますが経営の健全化を推進できるようネットワークの再構築を進めてまいります。

最後になりましたが、貴会の活動がさらに発展し、会員の皆様のご健康とウェルビーイングの向上を祈念いたします。



## 受賞おめでとうございます!!

訪問看護サミット2024（日本訪問看護財団設立30周年記念）が、11月30日（土）東京品川・浜松コンベンションにて開催され、30周年記念功労者として長内秀美元会長と尾崎美智会長が表彰されました。



長内秀美 元会長



尾崎美智 会長



## 研修会報告

### 令和6年度 香川県介護支援専門員協議会定期研修会 — 介護支援専門員と訪問看護師との連携について — に参加して

役員 妹尾 陽子

7月15日（月・祝）、丸亀市市民交流センター「マルタス」にて、訪問看護の役割や意義・訪問看護のサービス内容についての知識を深め、介護支援専門員と訪問看護師とで顔の見える関係を構築し、今後さらにより良い連携がはかれることを目的として開催されました。

香川県立保健医療大学副学長 片山陽子先生による基調講演では、在宅では利用者を中心としたチーム連携が不可欠であることや、ヘルパーではなく訪問看護を利用する際の利用者へのメリットなどの説明があった後、看護職の「人を見る視点」や、「医療と生活を統合できるスキル」を有効活用していただきたいと介護支援専門員に向けてお話がありました。

また、まるがめ訪問看護ステーションの小野雪絵様、ケアプラン笑んでるの河野結花様より、訪問看護と介護支援専門員双方の立場から、連携の状況や今後望むことについてそれぞれ発表の後、実際に訪問看護を利用したことで見えてきた課題などについて介護支援専門員から質問や意見をいただく機会となりました。具体的には、介護保険情報サービス公開システムのような多職種が活用できる訪問看護ステーションの情報閲覧が簡単にできたらよい、各ステーションの特色が分かりづらいといったご意見をいただき、今後の課題となりました。

### 管理者研修

### 「BCPについて 一日頃からからの体制整備と連携」を開催して

役員 長瀬 紀代子

10月5日（土）、香川県看護協会では令和6年度管理者研修を開催しました。講師は香川大学医学部附属病院 災害看護専門看護師の熊野耕先生です。

事前アンケートでは回答のあった16事業所のうち5事業所が災害訓練を実施していました。具体的な内容は、災害伝言ダイヤルや携帯の災害アプリの練習、訪問看護に向かう運転中の災害シミュレーション、メールやLINEを使用した連絡ツール・情報発信訓練、感染症対策としてガウンテクニックや物品の取り扱い・処理方法等でした。

災害対策としては、備品の整理・準備、充電式ポータブル吸引機やスタッフ用懐中電灯の購入、災害時個別支援表や避難所マップの作成などで、中には人工呼吸器装着をしている利用者がある場合、自治体と保健所主催の避難訓練に参加しているステーションもありました。訪問看護ステーションのBCPとしてまず行うことは、事業を継続するためにスタッフが被災して来られなくなるなど不足した場合どうするかを考え、事前に準備しておくことです。

グループワークでは、各ステーションのBCPについて知ることができ、台風接近時のシミュレーションをおこないました。今回の研修で、職員の安否確認方法の確認やハザードマップを見直し危険を予測することやサービス担当者会議時に利用者に係るサービス事業者で災害時の対応について検討することが必要だと改めて思いました。



研修風景▶



### 訪問看護ステーション オリーブの風

管理者：奥條 理一

私たちは地域の皆様の心の支えになる医療を基本理念とし、特に精神科看護と身体リハビリテーションに力を入れています。利用者様とご家族との信頼関係を大切に、利用者様が住み慣れたご自宅で安心して生活できるようご支援させていただきます。



### みんなのかりつけ 訪問看護ステーション

管理者：山崎 昌代

2023年8月に宇多津町で開設いたしました。利用者様に、自分らしく豊かに暮らしていただくよう支援していきたいと思っております。



### 訪問看護ステーション カラーズ

管理者：永田 香菜子

2023年10月に丸亀市に開設しました。私たちはご利用者様とご家族様が安心して在宅生活を送れるよう一人ひとりに寄り添い、24時間サポートいたします。また、臨床工学技士が在籍しており医療機器を使用されている方も安心してご自宅等で生活できるよう支援します。どうぞよろしくお願いたします。

### 訪問看護ステーション サスケ3

管理者：日比生 嘉美

4月に開設致しました、訪問看護ステーションサスケ3です。高齢者看護の需要が増えている昨今、利用者様、家族様に必要な看護が提供出来るよう努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 新卒看護師の言葉

訪問看護ステーションたきのみや 澤部 真由美

私は新卒で訪問看護ステーションに入職し、今年で3年目となりました。今の私に多くの知識や技術のスキルがあるわけではなく、日々の訪問で分からないことや判断に迷うことはたくさんあります。しかし、そのたびに先輩に相談して助言を得ることができるので、実際に訪問に行くのは1人ですが、不安を抱え孤立したことはなく、訪問看護もチーム看護であることを実感しています。未熟ではありますが、『寄り添いたい』という看護観のもと、利用者さんやご家族の思いに向き合いながら、今後も精進していきたいと思っております。



### 先輩看護師からのメッセージ

訪問看護ステーションたきのみや 植松 由理

新卒で就職し不安もたくさんあったと思いますが、毎日一所懸命取り組み、利用者さんを理解しようとする姿や、丁寧に看護を行う姿は私達先輩スタッフにも良い刺激になっています。私達が気づけなかったことや、新しい視点での意見や発言も聞かれるようになり、1人の訪問看護師として、チームになくてはならない存在になっています。訪問看護は、利用者さんやご家族の生活や人生に深く関わる仕事だからこそ、やりがいと難しさの両方を感じると思っています。チームみんなで支えていますから、目指す看護を実践できるようこれからも一緒に頑張っていきたいと思います。



### 会員募集中

現在、香川県下には150か所の訪問看護ステーションがあります。まだ入会されていないステーションの皆様、また新しく開設した訪問看護ステーションの皆様！香川県訪問看護ステーション連絡協議会へ入会し、現状や課題を共有、最新情報も吸収しながら、一緒に頑張らませんか。

**年会費：1万円**

お問い合わせ先

香川県訪問看護ステーション連絡協議会事務局  
(公益社団法人 香川県看護協会内)  
TEL:087-864-9070 / FAX:087-864-9071



### 編集後記

「おりじんOrigin訪問看護ステーション便り」を発行するにあたり、原稿をよせていただいた皆様に心よりお礼申しあげます。今後とも当協議会活動へのご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。 役員一同

香川県訪問看護ステーション連絡協議会

ホームページURL  
<https://kagawa-houkan-st.com>

ご意見・ご要望お寄せください♡

